

平成29年度 下益城城南中学校 研究部経営計画

[研究テーマ] 一人ひとりが「わかる・できる・分かち伝える」授業の創造
～ICT等の効果的な活用を通して～

1 研究推進の目的

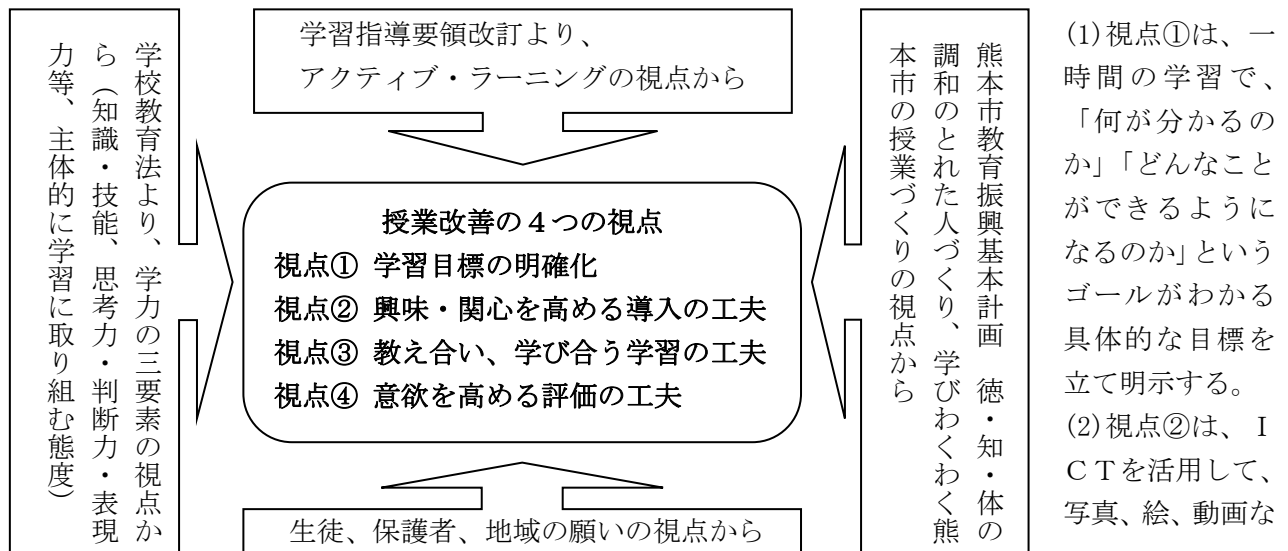
- (1) 学校教育目標及び重点目標の具現化のため、生徒の実態に応じた課題解決に努める。
- (2) 教師としての資質向上のため、研修を充実させ、課題に対応する。
- (3) 学校全体での組織的な研修であるという共通認識のもとに実践を進める。
- (4) 研修を通じて、授業観、指導観など今日的な教育課題意識を高める。

2 校内研修の方針

- (1) 研究テーマに沿った研修を通じ、本校の教育的な課題を改善・解決を全教科にわたって研究する。
- (2) 全教育活動の根底に、生徒の人権意識を高める人権教育を据える。
- (3) 教職員一人一人がプロ教師としての教育観、指導力等の修養と自己研鑽の意識を高める。

3 研究内容

授業改善の4つの視点を設定し、ICT等の効果的な活用を研究しながら、生徒一人ひとりの立場で「わかる・できる・分かち伝える」授業づくりの実践を行う。



ど、学習課題に関連する内容を可視化や焦点化したり、必要感や切実感を高める学習課題を設定したりしながら、生徒の興味・関心を高める導入を工夫する。

- (3) 視点③は、目標の達成に向けたペアやグループで学び合う活動を取り入れたり、リトルティチャーを活用して教え合う活動を取り入れたりしながら、「分かち伝える」活動を意図的・効果的に行い、協働的に学び合う学習課題解決の工夫をする。
- (4) 視点④は、学習の振り返りシートを活用するなど、生徒一人ひとりの努力や態度を認め、生かす機会を設けながら、やる気や意欲を引き出す工夫をする。
- (5) 「学習は、生徒一人ひとりに成立する」という立場で、学級集団を一つのまとまった集団としてみるのではなく、個人の集まりとして意識的に個にかかわって授業づくりをしていく。
- (6) ICT等の効果的な活用を全教科の授業づくりにおいて研究していく。

4 研修の方法

- (1) 研修日時：原則として、月1・2回の校内研修を企画し実施する。
- (2) 研修会の持ち方：研究テーマをもとに授業改善の4つの視点を取り入れた研究授業(大研・小研)を行う。また、オープンスクール時に互いの授業を参観し意見交換を行い授業力の向上を図る。